

2010 年度 聖学院大学
進学・修学支援制度について

(記者発表会資料)

2009 年 8 月 20 日



聖学院大学

【発表者】

学長

学生部長・日本文化学科教授

広報部長・コミュニティ政策学科教授

事務局長

阿久戸 光晴 (あくど みつはる)

清水 均 (しみず ひとし)

大森 達也 (おおもり たつや)

鈴木 嘉顕 (すずき よしあき)

【お問合せ先】

広報企画部広報課 山下・栗原 (TEL 048-780-1707)

2010 年度聖学院大学進学・修学支援制度について

聖学院大学
(学長 阿久戸 光晴)

聖学院大学は「入って伸びる大学」をモットーとしています。そして、その実現のために様々な学生支援システムを備えていますが、昨今の受験生たちを取り巻く急激な経済環境の変化に対応すべく、大学として適切な支援対策を講じる必要があることは言うまでもありません。親御さんが安心してお子様を大学に通わせることができること、そして、学生自身が自覚的、自立的にキャンパスデザインを描くことができること、それが聖学院大学の願いです。

聖学院大学では 20 周年を迎えた昨年、一般入試で「緊急・経済支援特別入試」を実施いたしました。2010 年度の受験生に対しても、自立修学を支援するものとして以下のとおり支援計画を実施することにいたしました。

記

◆支援計画概要

対象者

- ・AO 入試レポート型、AO 入試講義型、指定校推薦入試、公募制推薦入試、スポーツ推薦入試、クリスチャン推薦入試、キリスト教関係者推薦入試、自己推薦入試、一般入試・英語特別入試、一般入試 A 日程、一般入試 B 日程、一般入試 C 日程、一般入試 D 日程のうち出願時に「申請書」を提出し入試に合格した者。(2009 年 10 月 14 日に対象入試が拡大になりました)

支援内容

<入学時支援>

A 学費月払い制度の適用

- ・申請書に基づく審査によって決定。
- ・申請者のうち高校在学中に「学生支援機構第一種」に予約、確定した者は、入学後支援機構から振り込まれる費用を月々自動振替によって学費にあてることとします。

B 入学金免除

- ・申請書に基づく審査によって決定。
- ・入試ごとの審査により計40名まで。

<入学後支援 (AB 共通) > 後記「キャンパスプラン自立支援制度」参照

- ・希望者は一般社団法人「生活サポート基金」による学費納入相談の優先相談が受けられます。(家計相談サポート、収支シミュレーション、貸付制度、他)
- ・自立支援※：最大 4 セメスター (2 年分) の学費貸与、場合によっては給付。
※別途審査がございます。

入学後の支援については申請許可後から聖学院大学修学支援課が窓口になり随時相談に対応します。尚、「自立支援」対象者には原則的に一般社団法人「生活サポート基金」による学費納入相談を受けてもらうこととします。

発表方法

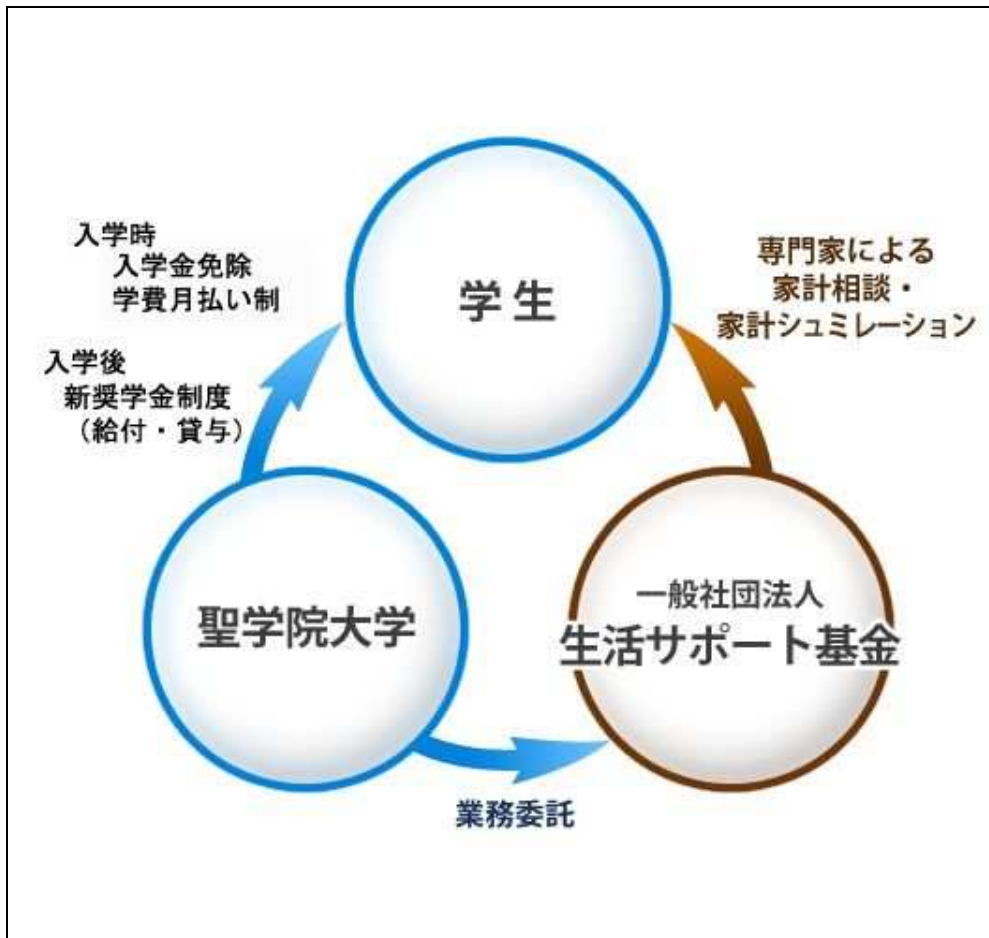
審査後合格者へ通知

*尚、審査後の入学辞退者には入学金相当額を課すことがあります。

申込方法

出願書類と一緒に申請書を提出してください。「日本学生支援機構一種」予約者については採用通知(写し)を提出してください。申請書は聖学院大学ホームページよりダウンロードできるようになります(現在準備中)

図1 聖学院大学の教育費サポート制度



(参考資料1)

【参考】キャンパスプラン自立支援制度

1、外部業務委託制度

この制度は「自力学費納入の道筋を開けるよう支援すること」を目指します。具体的には学費を準備できる体制を整えるために家計の管理体制から見直すこと、即ち、「学生及び保証人を対象とした家計に関する相談業務」・「家計収支シミュレーション案の提供」・「保証人を対象とした貸付制度の設置」等を内容とし、これらの作業をプロの外部組織に委託します。

(対象) 学費納入が困難な学生。いかなる状況にある学生においても、学費納入に困難を来している者は本制度を利用することができます。

(業務委託先) 一般社団法人「生活サポート基金」

(委託業務内容) 1、本学学生及び保証人を対象とした家計に関する相談業務。

2、本学学生及び保証人に対する家計収支シミュレーション案の提供。

3、本学学生及び保証人を対象とした貸付制度の設置。

4、オープン・キャンパス、アセンブリーアワー等の学内行事における生活相談業務。

2、聖学院大学自立支援制度

この制度は何らかの事情で学生本人が独力で学費を捻出しなければならない状況にある学生のキャンパスプランを大学が支援する制度です。

(内容) 1、学費月払い制度の適用

通常は定められた納入期限までに各学期分の学費総額を一括して納入していただきますが、これを一ヶ月ごとの分割納入にすることができます。これにより例えば「学生支援機構」から毎月貸与される奨学金を月ごとに学費にあてることで安定的な学費納入が可能になります。

2、特別奨学金制度

通常の納入方法、月払い制度のいずれに対しても何らかの理由で学費納入が困難な状況にある場合には、本人のキャンパスプランに基づき4セメスターを限度とする学費相当分の貸与、場合によっては4セメスターを限度とする学費相当分を給付します。

(条件) 卒業に至るキャンパスデザイン計画書並びに貸与の場合は卒業時に作成する返済計画書の提出

(財源) 聖学院大学後援会

(参考資料2)

一般社団法人・生活サポート基金の紹介

生活サポート基金は、これまで市民運動に関わってきた人々を中心に多重債務者救済のための組織として設立されました。代表理事の横田克巳氏は、生協運動の中心にいた人物で、私の長年の知人です。

聖学院大学では、四年間安心して学業に専念できるシステム作りに長年努力してきました。それには、昨今の厳しい経済環境で大学を去らねばならなかった学生の姿が目には焼き付いているからです。ひとたび、聖学院大学の門をくぐれば安心して四年間学べる体制作りの一環として、聖学院大学としてこのサポート基金と包括的な相談体制の提携をこの四月から始めました。家計の診断システムから安心して学べる学生生活へのシフトを目指しています。信頼できる組織です。相談の内容は本人の同意がない限り大学には伝わってきません。勿論無料で利用できます。プロの相談組織として安心してご利用ください。

担当責任者 政治経済学部政治経済学科長 柴田武男

当法人は、多重債務問題への取り組みの先進地である岩手県消費者信用生協からの全面的な業務ノウハウの提供や人的派遣などのバックアップと東京都内主要の生活協同組合(パルシステム連合会、生活クラブ生協・東京)の人的資金的支援により、社会的弱者や多重債務者支援を目的として2005年12月に設立されました。ミッションとしては、「安心生活にリメイク」というフレーズを掲げています。この意味合いは、経済的問題等により不安を抱えたままの生活を余儀なくされている状態から、少しでも安心感や安堵感が得られるような生活にもう一度戻れるような支援をしていくことを使命としています。

サラ金といわれた団地・町金融から消費者金融といわれた都市型金融への変遷は、消費者信用のビジネスモデルとして今日まで高成長を果たしてきましたが、一方ではその負の遺産として多重債務問題を発生させてきました。経済問題での自殺が年間約8,000件前後で推移し、一家離散やまつわる事件は日常茶飯事になっています。今日的には多重債務問題に加え、格差社会の進展と低収入による生活苦が顕著となっています。

私たちは、従来の消費者金融ビジネスに代わるような事業ではなく、あくまでも個人と向き合ったコミュニティファイナンスに徹し、そして金融がもつ本来の目的である生活の維持向上に役立つような事業活動を展開していきたいと考えています。そして、今後続出が予測されるファイナンスを受けられない方や、社会的弱者といわれる方々への生活再生のための低利資金の提供、生活再生への的確な助言とその実行性を担保しうる事業体としての構築を目指しています。この実現によって新たなコミュニティ醸成の一助となることを活動の目的としています。

一般社団法人 生活サポート基金 代表理事 横田克巳

(参考資料3)

聖学院大学における奨学金・教育ローンの情報 UPDATE

奨学金・教育ローンの種類	給・貸与別	募集人数	募集時期	給・貸与金額	主な資格	給・貸与期間
聖学院大学特別奨学金 第1種奨学金	給付	54	4月	学年学科1位：150,000円 学年学科2位：100,000円 学年学科3位：70,000円	前年度の成績が極めて優秀な者	当該年度
聖学院大学特別奨学金 第2種奨学金	貸与	26	春学期： 4月 秋学期： 9月	春または秋学期 授業料相当額 (2年Pの場合 365,000円)	①経済的事情により修学継続が困難な学生 ②成績順位が学年・学科の上位1/2以内	1 Semester 4回まで貸与可
聖学院大学 後援会修学援助奨学金	貸与	若干	原則 春学期： 4月 秋学期： 9月	春または秋学期 授業料相当額 (2年Pの場合 365,000円)	①経済的事情により修学継続が困難な学生 ②成績順位が学年・学科の上位1/2以内	1 Semester
日本学生支援機構 第1種(無利子)奨学金	貸与	30 (新入生以外 2名)	4月	自宅通学 [月額] 30,000円 54,000円 ※月額2種類より 希望選択 自宅外通学 [月額] 30,000円 64,000円 ※月額2種類より 希望選択	①家族の給与所得が1千万円以下(両親あわせて) ②成績順位が学年・学科の上位1/3以内	卒業まで ※年に1回適格審査あり
日本学生支援機構 きぼう21プラン(有利子)奨学金		53		30,000円 50,000円 80,000円 100,000円 120,000円 ※月額5種類より 希望選択		
聖学院大学 学費サポートプラン	貸与	所定の審査を 通った者	随時	授業料等納入金全額 (2年P春の場合 529,000円)	①保護者が申請 ②安定した収入のある者 ③オリエントコーポレーションが承認した者	1 Semester

聖学院大学における奨学金・教育ローン 申込み時期一覧表

学年	学期	聖学院大学特別奨学金 第1種奨学金	聖学院大学特別奨学金 第2種奨学金	聖学院大学 後援会修学援助奨学金	日本学生支援機構奨学金 第1種(無利子)奨学金	日本学生支援機構奨学金 きぼう21プラン(有利子)奨学 金	聖学院大学 学費サポートプラン(オリコ)
1年次	春	—	—	—	○	—	○
	秋	—	○	○	—	—	○
2年次	春	○	○	○	○	○	○
	秋	—	○	○	—	—	○
3年次	春	○	○	○	○	○	○
	秋	—	○	○	—	—	○
4年次	春	○	○	○	○	○	○
	秋	—	○	○	—	—	○
備考		<ul style="list-style-type: none"> ・一般公募は行わず、前年度の学業成績及び品行に基づいて大学で選考する。 ・給付 	<ul style="list-style-type: none"> ・無利子 ・最大4期分まで借りられる ・面接審査有り ・卒業後5年以内に返還 ・貸与額は授業料相当額 ・成績が学年・学科1/2以内 ・貸与 	<ul style="list-style-type: none"> ・無利子 ・1期分借りられる ・面接審査有り ・卒業後5年以内に返還 ・貸与額は授業料相当額 ・成績が学年・学科1/2以内 ・貸与 	<ul style="list-style-type: none"> ・無利子 ・4月中旬の説明会出席 ・1度奨学生になれば卒業時まで借りることができる。(年に1回適格審査有り) ・卒業後12年～20年以内に返還 ・1年次の申込み者は高校の成績が3.5以上の者 ・2年次以上は成績順位が学年・学科1/3以内 ・貸与 	<ul style="list-style-type: none"> ・有利子(約1.3% 2008年) ・4月中旬の説明会出席 ・1度奨学生になれば卒業時まで借りることができる。(年に1回適格審査有り) ・卒業後12年～20年以内に返還 ・1年次の申込み者は高校の成績が3.0以上の者 ・2年次以上は成績順位が学年・学科1/2以内 ・貸与 	<ul style="list-style-type: none"> ・固定金利4.5% ・保護者が申請する。 ・貸与金額は授業料等納入金全額 ・オリコが直接大学に学納金を振り込む ・ご利用総額500万円まで可能

日本学生支援機構奨学金

1. 奨学金の貸与を希望される方へ

日本学生支援機構は、奨学金貸与等の学生支援事業を行っている独立法人です。奨学金は、経済的理由により修学に困難がある優れた学生等に対し貸与されます。日本学生支援機構の定める基準により選考を行い、聖学院大学より推薦をして、日本学生支援機構が採用を決定します。採用枠に限りがあるので、基準を満たしても推薦されない場合があります。

家庭の経済状況やあなたの人生・生活設計に基づき、十分考慮のうえ申込みをしてください。

2. 採用方法

奨学金の申込みは、在学する学校を通して行います。

奨学生の採用方法には「予約採用」「在学採用」「緊急採用・応急採用」があります。

①予約採用 大学入学前に奨学金を予約する制度です。

進学する前年に、在学している高校の奨学金窓口に応じ出してください。

予約採用者は手続きがあるので入学後4月に奨学金の掲示を見てください

②在学採用 入学後の申込み

毎年春に大学で奨学生の募集を行います。聖学院大学では4月中旬に日本学生支援機構奨学金の説明会を実施いたします。説明会出席者に申込書類をお渡ししております。

③緊急採用・応急採用 緊急の申込

家計の急変（主たる家計支持者が失職・病気・事故・会社倒産・死別又は離別・災害等）で奨学金を緊急に必要とする場合は、在学している学校の奨学金窓口にご相談してください。

3. 奨学金の種類

①第一種奨学金（無利息）

利息：無利息

学力基準：出身高等学校の認定平均値が3.5以上の者

家計基準：日本学生支援機構が定める基準値以下の学生

貸与金額： 自宅通学者・・・54,000円

自宅外通学者・・・64,000円 ※2008年度

②第二種奨学金（利息付）

利息：年利3%を上限とする利息付（在学中は無利息）

学力基準：出身高等学校の認定平均値が3.0以上の者

家計基準：日本学生支援機構が定める基準値以下の学生

貸与金額：30,000円、50,000円、80,000円、100,000円、120,000円より選択

4. 返還について

奨学金の貸与が終了すると、返還の義務が生じます。返還金は、後輩奨学生の奨学金として直ちに活用される重要なものです。貸与終了後、6ヶ月経過後から返還が始まります。返還金額は貸与額によって変わりますが、返還額は毎月1万～2万3千円です。

(参考資料5)

緊急・経済支援特別入試の入学金免除者 3名

入学金・授業料延納手続者数 (2007-2009 年度)

入試	2009 年度	2008 年度	2007 年度
入学者数	714	700	687
延納手続者 (内日本人)	53 (30)	49 (30)	25 (8)

* 延納手続者=日本人+留学生

奨学金利用者数 (2007-2008 年度)

◆聖学院大学独自奨学金給付・貸与者数

年度	2008 年度	2007 年度
第1奨学金	55	54
第2奨学金	25	26
聖学院大学後援会修学援助奨学金	0	5

◆日本学生支援機構奨学金情報

1. 奨学生総人数 2009年2月現在

- (1) 第1種(無利子)奨学金 139人
- (2) きぼう21ぶらん奨学金 368人
- 合計 507人

2. 2008年度奨学金申請学生 学年別

(1) 第1種奨学金

1年生 34人 (予約採用16人 定期採用18人)

2年生 2人 (定期採用2人)

3年生 0人

4年生 0人

合計 36人

(2007年度 36名)

(2) きぼう21プラン奨学金

1年生 104人 (予約採用75人 定期採用28人 応急1人)

2年生 16人 (定期採用14人 応急2人)

3年生 13人 (定期採用)

4年生 4人 (定期採用)

合計 137人 (予約75人 定期採用59人 応急3人) (2007年度 108名)

(参考資料6)

聖学院大学 D A T A

- ◆所在地 埼玉県上尾市戸崎 1 - 1
- ◆学長 阿久戸 光晴
- ◆創立 1988 年

◆校地・校舎面積 約 65,300 m²

◆学部

政治経済学部 政治経済学科・コミュニティ政策学科
人文学部 欧米文化学科・日本文化学科
人間福祉学部 児童学科・人間福祉学科

◆大学院

アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科 (博士前期課程・後期課程)
政治政策学研究科 (修士課程)
人間福祉学研究科 (修士課程)

◆学生数 (2009 年 5 月 1 日現在)

学部 2771 (男 1705・女 1066)
大学院 98 (男 56・女 42)

◆教員数

学部 107 大学院 18 総合研究所 14